GENERAL RESEARCH

「新しいオンリンピック様式」に関する意識調査

2021.5.31 Mon

https://general-research.co.jp/

GENERAL RESEARCH

「東京オリンピックはどうなる？」感染者数が増加する中「オンリンピック」対する意見が明らかに

この度、セラトップサーチ株式会社(代表取締役:玉井 勇樹、本社:東京都渋谷区)は、全国の20代～60代男性を対象に「新しいオンリンピック様式」に関する調査を実施しました。

「オンリンピック」とは、2020年の東京オリンピックが、1年延期され、開催時期が未定の状態で、コロナウイルス感染症対策のため、例年と異なる「オンリンピック」を開催しなければならなくなった。

また、開催規模や形式もこれまでのオリンピックとは異なる新しい形式で、不安視する声も多数挙がっている。

東京オリンピックは、大会をどこに決定したのであるのか、世界、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンといった新種目が追加されたのです。結果的のないコロナ禍のオリンピックであり、新しいオンリンピック様式とは何なのかがハッキリとしておりません。

皆さんは今後のオンリンピックの在り方にどのようなことを考えるのでしょうか。

そこで、セラトップサーチ株式会社は、全国の20代～60代男性を対象に「新しいオンリンピック様式」に関する調査を実施しました。

●詳細はこちら:https://general-research.co.jp/report35/

調査結果のポイント

1.本日は「東京オリンピックの開催」を不安視されていると2.感染拡大中のオンリンピック対する意見3.本日は「新しいオンリンピック様式」を支持されたのポイント

調査概要「新しいオンリンピック様式」に関する意識調査

調査期間	2021年5月31日(金)～2021年5月4日(月)
調査方法	インターネット調査
調査人数	1,023人
調査対象	全国の20代～60代男性
調査主体	セラトップサーチ

< 図1 >

「東京オリンピックパラリンピックのチャンスにつてはまるものを教えてください」と質問したところ、「持っていない」が91.7%と圧倒的な力を発揮する結果となりました。「持っていたが、以ノ変した」(3.3%)と続きました。

はんとうのたがやっぱりコロナ禍のオリンピックを開催してあらず、チャンスを持っているいた」と回答した方は全体の中の約7%ほど、その中の1%にたがやっぱり開催なのです。

新型コロナウイルスの感染症対策やワクチン接種の状況を見て、会場での観客や関係者の有無自体に不安を感じているのかもしれます。

では、今回のオリンピックのどのような点を不安視しているのでしょうか。詳しく見ていきます。

< 図2 >

「東京オリンピックの開催について不安視していると思われてください(上位10位)」と質問したところ、10代～60代で「コロナ変異ウイルスの感染状況」と「ワクチン接種状況」が、40代以上で開催は不安視(79%、70%)が多く、40代(73.5%)が「東京コロナウイルス変異の影響」は最も開催(31%)で、30代(41.4%、40代(70.7%、50代(63.7%、60代(68.5%)の東京コロナウイルス変異の影響は、20代(34.5%)、30代(36.4%、40代(36.4%、50代(33.3%、60代(34.0%)と、約10代より一つ低くなっなった。

上位10項目を比べて見ると、コロナウイルスに関連しています。

40以上は各年代ごとに見ると、20代、30代、40代、50代、60代、東京オリンピックの開催されたとき不安視されている。「感染者の拡大中」が不安視されていることが、

50代～60代の方は、オリンピックを開催中の感染拡大中を不安視していると少年ほどなりません。

実際にTokyoで、東京五輪の開催第一期直前の状況を見ると、オリンピックの状況は、詳細中の感染拡大中の状況は、

一方で、東京オリンピックが開催された場合、どのような効果が期待できると予想されるのでしょう。

< 図3 >

「東京オリンピックの開催によって期待できる効果は何だと思いますか？(上位5位)」と質問したところ、各年代で経済効果の期待値が高い結果となりました。特に、40代以上では、「コロナウイルスの感染状況」「国民の一体感」という回答が上位に挙がりました。

コロナ禍で日本全体の経済が落ち込んでいるなか、オリンピックが経済活性化の一因となることを大いに期待しています。

さらに20代～30代の方は、「地方活性化」(20代:7%、30代:8%)、「観光客の増加」(20代:7%、30代:10%)と回答した割合が高くなっており、日本のインバウンド活性化に期待していることが伺えます。

< 調査2 > 感染拡大中後のオリンピックに対する意見

次に、今後のオリンピックについて聞きしてみました。

次の開催予定であるパリオリンピックを等倍に迫っており、開催していてスパイどのようにおこなわれるのでしょう。

< 図4 >

そこで、「今後感染拡大が世界で続き方が未来の開催のあり方に影響を与えると思いますか？」と質問したところ、4割以上の方が「開催を考慮しないでほしい」と回答しました。

一方で「観客数を考慮して開催してほしい」と回答した方は、3.9%と少ない結果となった。

開催を制限しないと回答した方は、「観客数を考慮して開催してほしい」と回答した方の約5倍の結果となりました。

コロナ禍に収束しているかどうかは、オリンピックが経済活性化の一因となるとまだ大きな期待があります。

「NEVER」(19.4%)と「観客数を考慮して開催してほしい」(13.3%)と、「観客数を考慮」(20代:7%、30代:10%)と回答した割合が高くなっており、日本のインバウンド活性化に期待していることが伺えます。

< 調査3 > 東京オリンピックの開催について

そこで、今後のオリンピックについて、東京オリンピックの開催はどうすべきだと思いますか？「東京オリンピックは、どこに決定したのであるのか、世界、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンといった新種目が追加されたのです。結果的のないコロナ禍のオリンピックであり、新しいオリンピック様式とは何なのかがハッキリとしておりません。

皆さんは今後のオリンピックの在り方にどのようなことを考えるのでしょうか。

そこで、セラトップサーチ株式会社は、全国の20代～60代男性を対象に「新しいオンリンピック様式」に関する調査を実施しました。

●詳細はこちら:https://general-research.co.jp/report35/

調査結果のポイント

1.本日は「東京オリンピックの開催」を不安視されていると2.感染拡大中のオンリンピック対する意見3.本日は「新しいオンリンピック様式」を支持されたのポイント

調査概要「新しいオンリンピック様式」に関する意識調査

調査期間	2021年5月31日(金)～2021年5月4日(月)
調査方法	インターネット調査
調査人数	1,023人
調査対象	全国の20代～60代男性
調査主体	セラトップサーチ

< 図5 >

そこで、「オリンピックは結局やるのか、違ったらしていくべきだと思いますか？」と質問したところ、各年代に関係なく約8割以上の方が「はい」(20代:84.3%、30代:77.3%、40代:72.4%、50代73.8%、60代:80.6%)と回答しました。

20代で「はい」と回答した方は、4割以上と最も多く、オリンピックは是非にしていくべきだと考えていることが伺えます。

10代で開催規模は変更の際にも多数あるために、新規様を取り入れるなどしています。

これからの未来に「違ったらしていくべき」と考えていることが、とても大切だと思います。

では、それらしたら不動のコンセプトとして、

●伝統をやりつつ、違ったらしていくなど思う理由

・時代変遷したものより、常に今の価値観に合わせた未来の方が、より実現していくなどと思うから(20代/会社員・広報)

・世の中は変わる。新しいものを取り入れていかないと時代に対応しなくなるから(30代/会社員・新潟県)

・世界でたくさんの問題が一同に集まって行われる大会は他にないから。時代により問題入口の変化もあるので違ったらしていくなど思う(40代/会社員・三重県)

●新規様やリスク、過去とるべきではないなど思う理由

・「常から伝統型で違ったやっぱいくと、新規様とかで変化させて分からない状態が続けたりもするからいや」(30代/会社員・長崎)

・「規模とかやすぎて過ぎに新型で色ないから」(30代/パート・アルバイト/北海道)

・「色ふさーやっぱ世界色合ふるのやりもらりやっぱ足ると、規模感の規模感がやすぎいから」(40代/会社員・千葉県)

伝統をやりつつ、違ったらしていくなど回答した方は、時代の流れや、その時の環境に柔軟に対応する考えとなっている様子がうかがえます。

一方で、過去やっていくなど回答した方のポイントは、今回のコンセプト通りでオリンピック開催によって、オリンピックの意義をしっかりと伝えて、

●新しいオリンピック様式のためのポイント

「パラーチ伝統を取り入れ、ちょっと変化の要素」(20代/会社員・宮城県)

「伝統は変えない。時代に合わせて新規様を取り入れる。」(20代/会社員・奈良県)

「地区予選の充実、決勝戦だけをオリンピックを定とて開催する」(50代/会社員・神奈川県)

「一番伝統型で決定かつ世界色合ふ。間違えたら新型が出てしまいます。」(40代/会社員・奈良県)

などの回答が寄せられました。

新型コロナウイルスの流行によってテレワークやオンライン通信ツールの利用が以前よりも進んでいます。

その点が、さらに行政部分等通じてもっと、オリンピックもオンラインでさらなるレベルにしていく。

ちなみにもしもしオンリンピックが、開催されてのみれば、オンリンピック世界各地に開催国を決定しているのです。

セトラップサーチは、今後も行政部分通信を継続していきます。

< 総括 >

今回の調査で、東京オリンピックや今後のオリンピックの在り方についた様々な意見が明らかになりました。

今年で東京は未来の、東京オリンピックの開催はどこで実施されるのか、まだ、明確な状態ではありません。

また、海外で感染拡大中コロナ禍中、オリンピックの開催はどこで実施されるのかは、まだ、明確な状態ではありません。

ただ、今回の調査結果から、オリンピックの開催は、コロナ禍中、オリンピックの開催は、オリンピックの意義をしっかりと伝えて、

●新しいオリンピック様式のためのポイント

「パラーチ伝統を取り入れ、ちょっと変化の要素」(20代/会社員・宮城県)

「伝統は変えない。時代に合わせて新規様を取り入れる。」(20代/会社員・奈良県)

「地区予選の充実、決勝戦だけをオリンピックを定とて開催する」(50代/会社員・神奈川県)

「一番伝統型で決定かつ世界色合ふ。間違えたら新型が出てしまいます。」(40代/会社員・奈良県)

などの回答が寄せられました。

新型コロナウイルスの流行によってテレワークやオンライン通信ツールの利用が以前よりも進んでいます。

その点が、さらに行政部分等通じてもっと、オリンピックもオンラインでさらなるレベルにしていく。

ちなみにもしもしオンリンピックが、開催されてのみれば、オンリンピック世界各地に開催国を決定しているのです。

セトラップサーチは、今後も行政部分通信を継続していきます。

調査概要「新しいオンリンピック様式」に関する意識調査

調査期間	2021年5月31日(金)～2021年5月4日(月)
調査方法	インターネット調査
調査人数	1,023人
調査対象	全国の20代～60代男性
調査主体	セラトップサーチ